

中央地域での「市民と知事・市長との意見交換会」 発言に対する処理方針

(開催概要)

日時：平成18年1月23日(月) 19:00～20:30

場所：かごしま市民福祉プラザ

平成18年4月
鹿児島市市民参画推進課

中央地域での「市民と知事・市長との意見交換会」発言に対する処理方針

日時：平成18年1月23日(月)19:00～20:30

場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	知事・市長 回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	紫原三丁目 男性	<p>紫原南公園に高齢者の方々の物置があるので、公園緑化課等に町内会の物置も提供してほしいとお願いしたが、設置許可はするが、補助はしないという返事だった。</p> <p>他団体には提供され、私達町内会には補助がないということで非常に困っている。約30箇所のごみステーションがあり清掃をしているが、町内会集会所がなく物置もないので、補助等について市長にお願いしたい。</p>	<p>(市長) 町内会活動に必要な公民館等の施設建設については補助しているが、付随する物置とか道具入れ等は、補助していないのが現状である。</p> <p>現在、公園にある物置は、どういう形で設置したのか調べて回答する。</p>	【市】 市民局、 建設局	<p>(市民局) 集会所は、町内会等のコミュニティ活動の拠点となることから、新築・改築等について補助を行っているが、物置等については、町内会等において整備していただくことでご理解を賜りたい。</p> <p>(建設局) 公園には、公園を清掃するための道具入れとして、物置は設置できるが、公園以外の清掃目的であれば、町内会であっても公園に設置することはできないこととなっている。</p> <p>現在、公園内に設置してある物置は、公園の清掃をしてくださる町内会や老人クラブなどの愛護団体に、市が貸し付けているものであり、お質しの紫原南公園も同様である。</p> <p>なお、愛護団体は1公園につき1団体でお願いしている。</p>
2	三和町 女性	<p>家の前に銭湯があり、煙突から出る煙に悩んでいる。5年位前から、アパート住まいをしている状況である。自分の家に住めるような良い方法は無いものか。</p> <p>煙突から近いのは私一人で、他の家にも煙はいくが、大気と攪拌され大分薄いようである。</p>	<p>(市長) 後で場所をお知らせいただければ、どういう形で処理が出来るかについて検討させる。</p> <p>銭湯は営業しているので、話し合いも必要になってくると思う。</p>	【市】 環境局、 健康福祉局	<p>(環境局) 三和町で営業している2つの銭湯については、いずれも条例に基づくばい煙の特定施設となっており、平成17年度も立入調査を実施したところ、硫黄酸化物等の排出ガスは規制基準に適合していた。なお、これまで、煙について相談がよせられた銭湯については、燃焼の方法、煙突の高さなど改善を進めてきている。現在もボイラーの維持管理について適切に行うよう指導しているところである。</p> <p>(健康福祉局) 保健所では、銭湯などの浴場については、公衆浴場法等に基づき、入浴者の衛生確保を図るため、施設の構造設備や公衆衛生上必要な措置の指導を行っている。</p> <p>法に基づく基準の遵守について今後とも指導してまいりたい。</p>

中央地域での「市民と知事・市長との意見交換会」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	知事・市長 回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	若葉町 男性	<p>若葉台団地は、民間が造成した団地であり、大きな法面が築造されている。</p> <p>法面が崩壊している箇所があるので、市に相談してきたが、人工法面であるため市では補修ができないので、土地所有者が補修をすべきという回答だった。</p> <p>それ以来、進展がないまま平成16年に清算人である社長が亡くなり、行き詰まっている現状である。そこで、市が清算人を設定（継承）して、速やかに補修できる体制をとっていただきたい。</p>	<p>(市長) 開発行為で、道路や公園は市に帰属するようになっているが、話のあった法面については、所有者の管理となっている。</p> <p>住民の生命財産を守るべき責務が、市としてはあるが、民間の所有物である土地を市が修繕等することは無理があると思う。</p> <p>住民に危険が及ぶようなことがあれば、市の判断として補修なり対策を考えていかなければならないが、もう少し現状を見ながら検討させてみたいと思う。</p>	【市】 市民局、 建設局	<p>(市民局) 民有地であり、現行の本市の制度では対応が困難であるが、災害のおそれがある場合には、何らかの方策により対処できないか、関係部局と協議してまいりたい。</p> <p>(建設局) 若葉台団地については、都市計画法の開発許可を受けて、道路・公園は市に帰属されているが、当該法面は開発者所有の自己管理となっている。</p> <p>このことから、基本的に民間の所有物を市が補修等することは難しい。</p> <p>しかしながら、住民の安心安全を確保するという立場から、現在の状況がさらに悪化し、住民に危険が及ぶと判断される場合は、市としても緊急避難的な措置として、改修等の具体的対応を図る必要があると考えている。</p>
4	長田町 男性	<p>鹿児島市高等学校生徒連盟という組織をつくっていただきたい。市内にある20数校の生徒会の皆が集まったり、活動したりという組織である。</p> <p>中学校では、鹿児島市中学校生徒連盟が活動しているにも関わらず、なぜ、高校では無いのか疑問を持っている。</p> <p>学校も前例がないため、わからないということだった。どのようにすればこのような組織ができるのか。</p>	<p>(市長) 生徒の皆さんが独自に活動されるのは、大変ありがたいことであるし、そういう方々からご意見をいただくのも有意義なことでもある。</p> <p>中学校生徒連盟ができた経緯や、どういうやり方があるか教育委員会に聞いてお知らせする。</p> <p>学校主体ではなく、各学校の生徒会が横の連携を図りながら、皆さん方で話し合っつつっていくというのは考えられないか。</p>	【市】 教育委員会	<p>鹿児島市中学校生徒連盟は、市内各中学校の生徒会活動を向上させ、生徒会同士の親睦を図ることを目的に、昭和45年度に自発的に発足しているようである。</p> <p>現在、39校が加盟し、顧問の先生の指導助言を受けながら、中学生弁論大会や岐阜県大垣市や山形県鶴岡市の中学生との交流会等を毎年実施している。</p> <p>高校においても、現在、それぞれの学校の生徒会同士で定期的に交流を行っており、今後もこのような交流活動が続いていくことが大切であると思う。</p>
5	吉野町 男性	<p>① 天文館の放置自転車の禁止区域が拡大になり、自転車等駐車場も多く建設していただいた。消防車も入れない状態だったが、大分解消され安心して暮らせる。</p> <p>月1回程、市と一緒に駐輪指導をしている。その中で、天文館地区は、夜に営業する事業所が多く、従業員も自転車等で通勤しているが、現行の駐輪場の料金制度は、午前0時を過ぎると2日間の料金になるので、定期券を発行してほしいという声を聞く。</p>	<p>(市長) 素晴らしいご意見をいただいた。まず、天文館地区の夜の駐輪対策について、行政と一緒に頑張ってご努力いただいていることに感謝申し上げます。</p> <p>定期券の発行については、システムが出来るかということを担当部局に検討させる。</p>	【市】 建設局	<p>定期利用については、多くの方々に利用されている状況にあることから、現在、整備を予定している中町の自転車等駐車場の供用を待って、各自転車等駐車場の利用状況を勘案しながら一般の方々の定期利用について検討していきたいと考えている。</p> <p>なお、平成18年4月1日から、駐車時から24時間までを単位として1日分の駐車料金とすることとしている。</p>

中央地域での「市民と知事・市長との意見交換会」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	知事・市長 回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		② 自転車と原付は市の条例の対象だが、自動二輪は道路交通法ということで、ステッカーは貼れるが指導はできない。 警察官と一緒に回ることで対応しているが、はかどらない。県警できちんと指導していただければと思っている。	(市長) 自動二輪は県警の所管である。 自転車、原付と一緒に駐輪場に止める人が多いというのも担当部局から聞いているので、その調整についても県警と協議しているところである。	【市】 建設局	中町に整備する自転車等駐車場に、自動二輪の駐車スペースも設けることとしている。 違法な駐車は、道路交通法に基づき警察で取り締まりをしているが、今後とも、強化することをお願いしたいと考えている。
		③ 天文館の文化通り側と銀座通り側の入り口に公衆トイレがあるが、周辺の公園内に放置自転車や二輪車が多い。 駐輪場の土地取得が難しいという話を聞いているが、現状を踏まえ、付近を整備して駐輪場としての活用ができないか。 昨年から、市に安心安全課や、中央署に天文館対策課ができ、非常に心強く思っているが、治安景観安全というのがまちのインフラだと思っている。私どもも一生懸命お手伝いしようとは思っているが、指導力も強制力も無いので、行政で対応していただけたらありがたい。	(市長) 自転車等の放置禁止区域も広げるなど、中町の駐輪場が完成後には、天文館周辺の各地域を調査し、放置自転車対策を検討していくことにしており、皆さん方と一緒に安心して安全なまちづくりに努力していきたいと思っている。	【市】 建設局	天文館公園においては、本市において自転車等駐車場の案内と放置禁止区域等について掲載した看板を設置するとともに、公園のまわりに、侵入を防止するための柵を一部設置したところである。 今後の整備計画については、現在、計画区域約45haにおける自転車等駐車場の整備と放置禁止区域の指定を進めているところであるので、まずは計画区域内の整備を早期に進めていきたいと考えている。 なお、天文館公園周辺の放置自転車等については、調査を行なって検討していきたいと考えている。
6	清水町 男性	① 町内会組織は、市民全部が入っているわけではないが、それぞれの地域をリードしていると考えている。地域にもいろいろな団体があるが、市としては、町内会の位置付けをどのように考えているのか。 また、市と町内会との会合が無い。町内会の数が多くて大変だとは思いますが、ブロックにわけ、年1回でも良いので、行政の考え方、町内活動のあり方、隣りの町内会との情報交換の場を、つくっていただきたい。	(市長) 町内会は、行政を進めるうえで大切な組織であり、今後もこれを基本として行政運営を進めていくことになると思う。 町内会と行政の意見交換会は、大切なことであると考えている。年1回、中央・谷山地区で、町内会の役割、行政と町内会との関係についての研修会を行っていたと思うが、また調べて回答する。ブロックごとの話し合いについては、私達もお願いしたいと思っている。	【市】 市民局	年度毎に会長や役員が交替する町内会が多いため、町内会役員等を対象に、コミュニティ活動に関する研修会や「おーい班長さん集まれ講座」を毎年実施している。 また、各町内会でコミュニティ活動を実践している町内会長や役員等に集まっていただき、それぞれの町内会が抱えている課題や問題点、活動事例等について互いに意見を交換しあう場として、コミュニティ交流会を平成13年度から実施しているところであるが、町内会数が多いことなどから、毎年、対象地区を換えて順次実施しているところである。

中央地域での「市民と知事・市長との意見交換会」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	知事・市長 回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		<p>② 上町福祉館は、子育て支援事業で100人ほどで利用しているが、場所が狭く十分な活動ができない状況である。</p> <p>現場を見ていただき、福祉館の改築をお願いしたい。清水保育園大会議室、駐車場、炊事場、図書室等を整備するとともに、できることなら、小学校内にある校区公民館が手狭なので、福祉館に校区公民館を入れていただきたい。</p> <p>0歳から100歳までが利用できる総合的なコミュニティセンターをぜひ設置してほしい。</p>	<p>(市長) 地域で頑張っているが館がないということで、ご意見があったと思うが、そういう構想については、総合的な見地で各面から検討していかなければならないと思っているので、建設的な意見として承っておきたいと思う。</p>	<p>【市】 健康福祉局、 教育委員会</p>	<p>(健康福祉局) 上町福祉館は昭和50年度に開設して以来、多くの市民の皆様にご利用されており、近年では、子育てサロンなど子育て支援事業にもご利用いただいている。</p> <p>当福祉館は、清水保育園との複合施設であり、早急な建替えや大規模改修は困難である。</p> <p>(教育委員会) 校区公民館は、小学校の敷地内に設置された施設の特徴を生かして、地域住民の生涯学習の場となるとともに、町内会やあいご会、PTA、婦人会等関係機関・団体への支援と連絡調整を図って、青少年の健全育成や地域課題を解決するための校区コミュニティ活動を進めることを目指している。館の利用率には差があるものの、延床面積が概ね162㎡という規格の中で、全ての小学校区に設置されており、校区公民館運営審議会が中心となって、市民の皆様には有効にご利用いただいていると考えているので、今後とも、学校敷地内にあるという利点を生かして、社会教育施設としての活用を進めていただきたいと考えている。</p>
7	池之上町 女性	<p>① 自宅近辺のごみ収集時間は、一方は朝9時だが、もう一方は午後2時か3時である。しかし、昨年夏の台風通過後は、一方は3日経過しても収集されず、ごみが散乱した。すぐ収集センターに電話したが、陳情してくださいと言われた。</p> <p>市職員も上町方面には多く居住しているのに、3日も収集に来ない状況を知らせる連絡網など出来ないのか。</p>	<p>(市長) ごみ収集は、同じ班で一日に市内を3回収集に回っているのですが、収集時間が午前と午後に分かれると思う。</p> <p>しかし、同じ界限で、別々の時間に収集するのは、地域の方にとっては大変なことだろうと思うので、担当部局に指示しておく。</p>	<p>【市】 環境局</p>	<p>ごみ・資源物の収集計画については、1日で全市域を回って収集するため、それぞれの地区のごみ量、道路事情、地域の実情など勘案しながら、午前の収集地区と午後の収集地区とに分けて収集コースを設定し、安全で効率的な収集に努めているところである。</p> <p>できるだけ同じ町は同じ時間帯に収集したいと考えているが、市内全域を対象に効率的な収集を行うことから、同じ町でも午前に収集する地区と午後には収集する地区とに分かれることがある。さらに、当日のごみ量や交通事情等により収集時間帯が変動する場合もあり、全て同じ町ごとに収集時間帯を統一することは難しい面があるので、ご理解をいただきたい。</p> <p>また、台風時には排出する市民の安全性の問題や排出されたごみの散乱の恐れがあることから、できるだけ排出を控えて、次回の収集時に排出していただくよう広報しており、今後も市民の皆様のご理解とご協力をいただきたい。</p>

中央地域での「市民と知事・市長との意見交換会」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	知事・市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		<p>② 毎日、2歳半の子供を連れて、鹿児島駅に汽車を見に行っている。踏切、市電の発着所、ロータリーがあるが、白線が薄れていて危ない。</p> <p>付近の歩道には、玉竜高校生の放置自転車が多く、普通に歩行できない状況である。</p> <p>玉竜高校から駅に行くまで真っ暗で怖い。中学校もできるので、歩道・街灯などの整備をしていただきたい。また、バスの発着時間も検討してほしい。</p>	<p>(市長) 市総合計画の中で、各地域の整備計画を立てており、平成18年度から20年度にかけて、一つ一つ実施をするようにしている。</p> <p>鹿児島駅周辺もその中で整備することになっているので、意見のあったことについて、対応できるか検討する。</p>	<p>【市】 企画部、市民局、建設局、教育委員会</p>	<p>(企画部) 市長の発言のとおり</p> <p>(市民局) 防犯灯については、町内会等の区域内であれば、その町内会等が必要に応じて設置し、その設置費と電気料については市が助成を行っている。</p> <p>また、町内会等と町内会等のはざまの箇所については、そのいずれかの町内会等が申請し、要綱の設置要件等を満たす箇所であれば市が設置し、申請のあった町内会等に譲与して町内会等で維持管理している。</p> <p>(建設局) 鹿児島駅周辺地区は、本市の核として重要な役割を担っているが、このところ賑わいの低下が見られることから、本市の新たな都市拠点として活性化を図り、再生させたいと考えている。</p> <p>そこで現在は、この地区において鉄道の高架化を検討している県と連携を取りながら、区画整理の手法によるまちづくりについて調査を行い、基本計画の作成をしているところである。</p> <p>この事業の実施にはまだ相当の時間を必要とするが、今回いただいたご意見については、事業の検討を進める中でその対応を考えてまいりたい。</p> <p>鹿児島駅周辺の放置自転車等については、巡回等を行い、これまでも指導を行なうとともに、条例に基づき7日間を超えて、当該自転車等が放置されているときは、撤去を行なっている。また、警察等とも連携を図りながら、放置自転車等に係る対策を行うなど、駐輪対策に努めているところである。</p> <p>玉竜高校の生徒に対しては、学校でも指導をしていただくよう要請してきているが、指導についてさらに協力要請をしてまいりたい。</p> <p>放置自転車等の解消は、自転車等を利用する市民の方々のご理解が必要なことから、これまでも広報誌やチラシ等による啓発のほか、各種イベントを活用してマナーの啓発にも努めているところである。</p> <p>今後とも、引き続き放置自転車等の指導、マナーの啓発など、周知・広報に努め、放置自転車等の解消に向けた取組みをさらに推進していきたい。</p> <p>区画線については、できるだけ早く工事着手してまいりたい。また、歩道設置が可能な箇所については、公安委員会等と協議を行い、できるだけ早く設置できるよう努めてまいりたい。</p> <p>(教育委員会) 指摘された箇所の現状把握と、改善に向けての指導を学校に依頼する。</p>

中央地域での「市民と知事・市長との意見交換会」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	知事・市長 回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		<p>③ 鹿児島駅は、トイレも整備がされてなく、紙・石鹸等も置いていない。また、案内所もないので、整備していただきたい。</p> <p>また、観光客も中央駅まで行けない方が多い。なぜ、シティビューパンフレットや観光マップには、中央駅へのアクセスが記載されていないのか。</p>	<p>(市長) シティビューは、2台から3台に増車して市内各地を回っているが、市民はもちろん県外からの観光客の方に快適に情緒豊かに乗車していただきたいというのが基本である。</p> <p>駅のトイレや案内などは、大変重要な基本的な整備だと思っているので、意見のあったことについて、できるものは整備させてみたいと思っている。</p>	<p>【市】 企画部、環境局、経済局、建設局</p>	<p>(企画部) ご要望のあったJR鹿児島駅の駅舎内(2階)に設置されているトイレの整備(トイレットペーパー、石鹸の備え付け)の件について、当該トイレを管理するJR鹿児島駅へ要望を伝えたところ、トイレットペーパーについては既に備えてあるが、石鹸の備え付けについては難しいとのことであった。</p> <p>(環境局) 鹿児島駅前の公衆トイレについては、現在週6回清掃を行っているが、利用者の多い公衆トイレについては、清掃回数を見直しを行うなど清潔な公衆トイレの維持に努めたい。</p> <p>(経済局) 鹿児島駅観光案内所は1日平均利用客数が約20人程度であったため、運営経費と見合わず、平成16年3月31日に休止し、代替として駅舎内に観光マップ等の配置を行っている。</p> <p>また、シティビュールートマップや観光マップ中においては、利用者の利便性に配慮し、鹿児島駅と鹿児島中央駅を含めた地図を掲載している。</p> <p>(建設局) 鹿児島駅周辺地区は、本市の核として重要な役割を担っているが、このところ賑わいの低下が見られることから、本市の新たな都市拠点として活性化を図り、再生させたいと考えている。</p> <p>そこで現在は、この地区において鉄道の高架化を検討している県と連携を取りながら、区画整理の手法によるまちづくりについて調査を行い、基本計画の作成をしているところである。</p> <p>質問にあった道路照明や歩道の整備、またトイレ等の整備については、鹿児島駅周辺のまちづくりを考えていく上で重要な課題であると考えている。</p> <p>この事業の実施にはまだ相当の時間を必要とするが、今回いただいたご意見については、事業の検討を進める中でその対応を考えてまいりたい。</p>

中央地域での「市民と知事・市長との意見交換会」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	知事・市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	金生町 男性	<p>来年度予算が国会で審議されようとしているこの時期に、三位一体改革の行方というものを、住民の一人として検証していくことは大事なことであろうと思う。</p> <p>4兆円の補助金改革が、政府の交付金化によって所期の狙いと違ってきているのではないか。義務教育、福祉などの行方が混沌としてくる。そうなる、地方は厳しい局面に立たされていくと思うが、生き残っていけるのか。非常に難しい問題だと思うが、知事の忌憚りの無い大胆なご見解をお聞かせいただきたい。</p>	<p>(知事) 三位一体改革の目的であるが、地方公共団体は財政を自分達で確保できていないので、財源を自ら確保して地方のことは地方でやるという地方自治制度をつくらうということである。</p> <p>現在、税源は国税が6で地方税が4の割合で、歳出はその逆である。歳出構造に併せた税源となるのが本来の姿であるが、これを一気に税源委譲するのは困難なので、まず国と地方で5・5になるような改革を行おうとしている。</p> <p>鹿児島の場合は、予算に占める税の割合が低く、税源委譲されても税源はあまり増えないので現行制度が運営しやすい。国庫補助金が地方交付税に移り変わるという側面が強い。</p> <p>これから、改革をどういう方法で進めるかは、いろいろな考えがありわからないが、私は、なかなか難しいのではないかと思う。</p> <p>財政の自主性が今後の課題であり、地方のことは地方に任せるとというのが国の方針であるので、住民は、これからしっかりと行政を見つめていただきたいと思う。</p>	【県】	
9	鳴池一丁目 男性	<p>高知県では、骨髄提供希望者（ドナー）登録が1か月で149人あった。高校野球部生徒が白血病になりこれを救おうという運動があったためであり、意欲をもち、何でも可能であるということである。</p> <p>また、今日の南日本新聞のひろば欄に、高校生が献血に行ったが、比重が足らず出来なかったという記事があった。現在、若い人の献血が減少しているが、これは食生活の誤りが原因だと思う。県が、地産地消運動をすすめれば、献血者も増えるし、県経済も活性化すると思う。</p>	<p>(知事) 重要で大切なテーマなので、しっかり取り組まなければならないと思う。最近、血液が不足する状況が見られるので、PRに努めたい。また、骨髄バンク制度が拡大することは望ましいことなので、県としてもいろいろ考えてみたい。</p>	<p>【県】</p> <p>【市】 健康福祉局</p>	<p>(健康福祉局) 献血に関しては、本市は県内で献血可能な人口が最も多く、本市における献血推進が県内での献血量の増加にとって大きな役割を果たすものと考えており、若者をはじめ、市民への一層の広報啓発に努力してまいりたい。</p> <p>また、骨髄バンク登録については、現在、市民のひろばによる広報活動をはじめ、年2回市役所市民駐車場で行われる献血の際に併行して骨髄バンク登録会を実施しているところであるが、今後も、骨髄バンク登録推進に努めてまいりたい。</p>

中央地域での「市民と知事・市長との意見交換会」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	知事・市長 回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	平之町 男性	① 山下校区に福祉館をつくってほしい。平之町と照国町には、町内会集会所もない。	(市長) 福祉館の建設については、市全体の総合計画の中で、どういう形で整備するかということを検討しているので、その中で検討させてみたい。	【市】 健康福祉局	地域福祉館は、市総合計画を推進するなかで、他のコミュニティ施設や公共施設との関連、人口の張り付き状況、地形などの地理的条件等を踏まえ、概ね1中学校区に1館という基本方針に基づき建設を行っている。 平之町や照国町は甲東中学校区であるが、同校区には甲東福祉館及び松原福祉館を設置しているので、現在のところ新たな福祉館の建設は考えていない。
		② ふれあいスポーツランドに県有地がある。野球場・球技場を早急に整備してほしい。 また、クレー広場を使ったが、排水が悪いので、整備してほしい。	(市長) ふれあいスポーツランドの管理は市が行っている。全体の整備については、県と市が協議しながら進めていきたいと思う。 また、側溝の問題等については、担当部局に伝えておきたい。	【市】 建設局	県が整備予定の球技場については、県に早期に用地を購入し、整備するように要請しているところである。 また、クレー広場の排水については、現場調査や検討を行い、対策を講じてまいりたい。
11	男性	玉龍中の開設で玉龍高の定員が360人から240人に減る。今の中学1年から3年生は、玉龍中を受ける機会も与えられず、定員が減らされたうえでの入試ということで不利益を被ることになる。また、3年後には、玉龍中から120人が玉龍高に進むので、他校からは狭き門になる。 高校も1学年240人となるので、文武両道をうたっているが、部活動が今までのようにできるのか不安である。 要望としては、大きな変革をする際は、もっと慎重に時間をかけてやるべきではないかと思う。ぜひ、今後は慎重にすすめていただきたい。	(市長) 玉龍中高一貫教育については、唐突に結論を出したわけではなく、県教委、市教委、行政で協議しながら決定した。 大きな変革であるので、こういったことについては、市民のコンセンサスを得ながら実施するのが行政の基本である。ご意見があったことは、十分意を用いて今後は対応していく。 また、大きな市政の方針を決めるときは、市民と一緒に、ご意見をいただきながら決定をしていくということを肝に銘じてやっていきたいと思う。	【市】 教育委員会	本市の中高一貫教育導入については、平成14年度から市教委において検討委員会を設置し研究を進めてきた。 平成16年度からは市民代表15人による中高一貫教育研究会議において協議してきた。さらに、平成17年度にはパブリックコメント手続きを実施し、市民のご意見をいただきながら決定してきたところである。 今後においても、市長の発言のとおり、広く市民や保護者等の意見を伺いながら、教育の充実に努めていきたい。
12	新屋敷町 女性	① 国も県も赤字財政で、税金は上がる一方である。 県も市も生活保護世帯が多く、市は全国平均より高い。生活保護が、本当に必要な人のためになっているのか、一度確認していただきたいと思う。	(市長) 生活保護を受ける方は、年々増加しているのが現状だ。 市としては、ケースワーカーが保護世帯を訪問し、きちんと仕事をし生計を立てられるように指導している。 今、景気が上向いてきていると言われているが、働きたくても働けない実情もあるようである。 保護に必要な費用は、国や県、市が支出するので、厳しく指導しながらやらないといけないと思っている。	【市】 健康福祉局	生活保護受給者に対しては、担当のケースワーカーが定期的に各世帯を訪問し、生活実態等を把握した上で、一日も早い自立のために、状況に応じた指導・指示を行っている。今後も、各世帯の処遇方針に基づいた保護の適正実施に努めてまいりたい。

中央地域での「市民と知事・市長との意見交換会」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	知事・市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		② 10月に大口の共同募金をしたが、そのお礼状が1月に届いた。封筒には、森市長の名前でA4の紙が1枚と、共同募金をした事業所というステッカーが入っていた。出費の方も考え直していただきたい。	(市長) 10月にしたことに対し、1月にお礼状を出すということも失礼なことなので、この場をお借りして謝罪したいと思う。 また、封筒の中身についても、送付するかどうかも含め、検討してみたいと思う。	【市】 健康福祉局	意見については、募金を実施した鹿児島市社会福祉協会にお伝えした。
13	男性	手話講習会を、市内では城西公民館、谷山市民会館、勤労婦人センターの3箇所で開催している。合併後、支所や旧5町で手話が出来た人が増えていくように講習会を開いてほしい。	(市長) 旧5町の各支所でも開催してほしいという要望があったことは、担当部局に指示しておく。	【市】 健康福祉局	障害者福祉課では、初めて手話を学ばれる方のための講習会を城西公民館・谷山市民会館で開催しており、旧5町の住民の方々や応募者の増加に対応するため、(合併後の)平成17年度から勤労青少年ホームでも新たに開催し、これら3会場での講習会に旧5町在住の市民の方々も受講中である。 また、本講習会は、厚生労働省のカリキュラムに準拠したものであり、開催回数は全30回、約8か月と長期にわたる(4月に開講～12月に終了)ものであることから、講師や助手の方々の確保等が困難な状況にあり、18年度も現在の3会場での開催を予定している。
14	城山一丁目 男性	県議会議員の選挙区と定数の問題だが、次の県議会議員選挙では、定数は56人から54人の2人減、選挙区は市町村合併の関係で選挙区が一部手直しになるだけということである。 県が厳しい財政の中で大改革をするというときに、また市町村の大合併がされているときに、県議会議員は、良識ある判断を下すべきではないかと思う。知事の見解を示してほしい。	(知事) 議員定数は議会で決めることだが、現在の定数54人が多いか少ないかはいろんな意見があるかと思う。問題は、本当に議員にふさわしい活動をしているかに尽きると思う。地域住民の声を汲んで鹿児島のことについて考えたうえで、議員活動をしていただければ、数の問題ではないと思っている。 状況が厳しくなっているので、議員さん方もあらためていろいろな努力をされると思うので、もう少し時間をいただき、こういった形で意識改革をされるのかみていただければと思う。	【県】	

中央地域での「市民と知事・市長との意見交換会」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	知事・市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
15	田上六丁目 男性	① 全国でがん患者が65万人。そのうち死の宣告を受けた患者さんは40万人という。 がんの拠点病院がない都道府県は、鹿児島も含め全国で8県である。設置の検討をお願いします。	(知事) がん患者が県内にもいるが、大学病院、市立病院をはじめ基幹病院が多くあるので、がん患者一人一人のケアについては、今の病院の体系の中で十分対応出来ているのではないかと考える。 がん病院という形で一つにまとめたものがあつた方が、効率的な運営ができるかも知れないが、必ずしもがん病院がなければならないということにはならないだろうと思う。 これからは、がんに対応する特別な治療方法、高度な技術をもつた病院をつくる努力をすべきであるというのが、今の状況ではないかと思う。	【県】	
		② 市立病院は、医局がわかれており、患者にとっては非常にマイナスだと思う。大阪市立病院は、医局を全部一緒に集めて、患者の要望とか治療とかをその中で検討し、医療が進んでいるという。市立病院も検討をお願いします。	(市長) 市立病院は、相当数の患者を抱え治療を行っており、待ち時間が長い割には診療時間が短く、総合的に診てくれないというお叱りをいただいている。 また、昭和36年から平成6年までの建築年度が違う建物であり、市立病院の在り方や施設整備について、総合的に考えなければならない時期にきているのも確かである。 今抱えている問題を総合的に市立病院で考えていただき、最終的には設置者である私が、各方面から検討して早急に結論を出すように努力したい。	【市】 企画部、 市立病院	(企画部) 市立病院については、今後のあり方等を検討するに当たり、同病院が県内の中核的総合病院であり、市民・県民の安心安全にかかる重要な施設であることなどから、病院内部での検討に加え、外部委員による広い見地からの意見も聞く中で判断する必要があると考えている。 このことから、外部委員による市立病院あり方検討委員会(仮称)を新たに設置することとしている。 (市立病院) 市立病院では、院内に設置しました整備計画等課題検討委員会では、これまで、院内の各部門等からの意見、提案を収集して、それらの整理、分析等を行い、将来の整備計画策定に向けたさまざまな課題等について、各面から検討を行ってきたところである。 現在、病院内における現状及び課題等を整理する中で、市立病院は今後どうあるべきかさらに検討しているが、これらについて市立病院として一定のまとめを行い、市長に報告することとしている。
16	中町 女性	スポーツ少年団が全国や九州大会に出場する場合の補助は、各市町村で違い、市の場合は、競技でも違うのはなぜか。県の場合も、県が認めた競技だと補助が出るが、他の競技は出ない。 市として、選手の交通費だけでも補助してもらえないか。	(市長) 選手が派遣された場合、市の体育連盟に市から補助金を出し、その運営費から補助していることもある。市から独自に各競技の団体に補助金を出しているということはないと思う。競技によって差があるのは不公平なので、その内容について、調査して回答したいと思う。	【市】 教育委員会	現在、日本スポーツ少年団が主催する全国大会及び九州ブロックスポーツ少年団の主催する九州大会に出場する種目団体に限定し、予算の範囲内で1チーム5万円の補助を行っている。 平成18年度も17年度同様の考え方で実施することとしている。